

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
トライデントデザイン専門学校		平成1年1月31日		坂本 直之		〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-1-11 (電話) 052-582-1785	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人 河合塾学園		昭和53年8月1日		河合 弘登		〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-1-11 (電話) 052-582-1785	
目的	読み手に伝わる、丁寧な漫画を作成し、計画性をもって仕事ができるプロ意識の高い人材を育成する。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養	文化教養専門課程		マンガ学科		平成21年文部科学省告示第21号	-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間		2940	300	2640	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数	
90人		31人		1人		8人	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成果物、小テスト等による総合判定。		
長期休み	■夏季: 7月21日～8月31日 ■冬季: 12月24日～1月7日 ■学年末: 3月17日～3月31日			卒業・進級条件	進級・卒業は、当年次に必須科目を全て単位取得して、進級もしくは卒業判定会議で承認されること。		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個別、あるいは保護者同席での面談			課外活動	■課外活動の種類 スポーツ大会、学園祭、デザイン研修の参加 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 長寿会、藤友五幸会、平成観光、ラインドライブ他 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 0% ■その他 (平成 27 年度卒業者に関する平成28年5月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	色彩検定		
中途退学の現状	■中途退学者 3名 ■中退率 8.8% 平成27年4月1日 在学者 34名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 31名 (平成28年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 体調不良、進路変更他 ■中退防止のための取組 個別面談、保護者会の実施。学費支援制度の導入。						
ホームページ	URL: http://design.trident.ac.jp/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

常に業界第一線の状況を把握し、最先端の知識や技術を学校として吸収し教育内容に反映していくことはもちろんのこと、学生への教授についても第一線の仕事のすすめ方なども熟知したうえで実施するため、本校で開催する教育課程編成委員会においては、関連企業、業界団体、学識経験者等からの要請、提言を聴取し、該当学科、ひいては学校全体の教育運営に資することを目的とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名前	所属
MA・CO	公益社団法人 日本漫画家協会
広井 優	エンターブレイン ブランドカンパニー ハルタ編集部
村松 誠	日本学芸振興會 事務局長

(開催日時)

第1回 平成27年6月10日 10:30～12:30

第2回 平成28年1月20日 12:00～14:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業との連携による演習等の科目においては、企業の業務水準を現実的に体感させることを主目的に設定する。疑似体験的な演習講義を通じて、企業で日常使われている技術・知識を体験、習得させる。また、授業を通じて学生たちが生み出した成果物に対する評価においても、学校という教育環境下での評価ではなく、市場を見据えた企業の現実の評価基準での判定を実施していただく。また、こうした演習全体を通じて、社会人基礎力を涵養していくことも合わせて目的に設定する。

科目名	科目概要	連携企業等
「ドローイング」	背景研究で学んだ背景演出を効果的な背景処理の技術を応用して使い表現力を強化する。 男性／女性、子供／大人などの人物の描きわけを学ぶ。	株式会社パナソニックコンシューマーマーケティング
「コミックイラストⅠ」 「マンガイラストテクニックⅠ」	・現地取材資料と、その体感記憶を元に描くことが、普段の作品制作とどう違うのかを実感し、必要性を理解する。 ・完成作品の見せ方、データ処理方法を身につける。	博物館明治村
「マンガイラストテクニックⅡ」	・現地取材資料と、その体感記憶を元に描くことが、普段の作品制作とどう違うのかを実感し、必要性を理解する。 ・完成作品の見せ方、データ処理方法を身につける。	株式会社豊田企画 よし川

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

専門学校教員として、自己の専門分野における最先端の知識・技術の習得のために、業務上一定の時間を費やすことを学校として求めている。ただし、個人の努力目標のみではなく、業界第一線の知識・技術の習得については学校として機会を積極的に提供していく。また、専門知識のみではなく、授業に関わる技術など教育力向上のための機会についても法人全体の課題として取り組んでいく。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名 前	所 属
三木 哲郎	竹田印刷株式会社 営業第三部 副部長
伊藤 浩二	株式会社アルペン
川橋 康樹	株式会社バウハウス丸栄 取締役執行役員 中部第Ⅱ本部長
山田 雄大	有限会社たけひろ建築工房 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法)ホームページにて公開

URL: <http://design.trident.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)ホームページ、広報誌等の刊行物、学生便覧、入学要項

URL: <http://design.trident.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程マンガ学科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			デッサンⅠ・Ⅱ	造形活動をおこなう上での根幹的表現力であるデッサンの、伝統的かつ基本的手法を習得する。基本的なものの見方と姿勢を身につける。	1通	180	6	○			○				
○			コンポジション	アクリルガッシュ等を使用して平面構成を行い、色と形、そして空間とそれらの関係を理解し、構成する能力を養う。	1前	60	2	○			○				○
○			デザイン史・色彩概論	デザインの起源から現在までの変遷を、特に近代デザインに重点を置いたデザイン史の知識を身につける。/色彩についての基本的な知識と体系を身につける。	1前	30	1	○			○			○	○
○			感性教育Ⅰ・Ⅱ	体験的授業手法とグループワークを通し、創作者に求められる感性を育む。	1通	120	4	○			○			○	
○			アイデアトレーニングⅠ	作品を生み出す上での着眼点の重要性を理論的に学ぶ。他ジャンルの表現技法や自己分析などからアイデアの生み出し方を習得する。	1前	30	1	○			○				○
○			CGⅠ	代表的なグラフィック/ドロー系のソフト「Illustrator」を使って基本的な作図方法を習得する。	1前	60	2	○			○				○
○			CGⅡ	「Photoshop」で制作した作品を使い、「Illustrator」と組み合わせて、総合的な完成データの制作過程を習得する。	1後	60	2	○			○				○
○			ストーリーマンガⅠ	ネーム構成の仕組みを学び、少数ページマンガに1つのテーマを絞り込む基礎力の習得を目的とする。	1前	120	4	○			○				○
○			ストーリーマンガⅡ	読者に伝える意識の重要性を認識し、テーマに基づいたストーリーをネームに起こす力の習得を目的とする。	1後	120	4	○			○				○
○			マンガ技法Ⅰ	マンガ原稿制作に必要なペン、トーンなどの使い方、及びコマ割構成やキャラクターのデザイン方法を習得する。	1前	60	2	○			○			○	
○			マンガ技法Ⅱ	マンガ表現における人物と物や背景の関係を理解し、コマ割の技術を向上、丁寧な完成原稿の制作を目的とする。	1後	60	2	○			○			○	

○		背景研究Ⅰ	様々な建造物や自然、造形物、植物など、マンガ、コミックイラストのそれぞれにおける最適な背景の表現力を習得する。	1 後	60	2		○	○	○								
○		CGイラストⅠ	「Photoshop」を使った基礎的な作品制作から、作品に合った技法や多種多様なCG制作方法を習得する。	1 後	60	2		○	○	○								
○		ベーシックプログラムⅠ	入学直後、専門科目の履修に先駆けて、常識・ビジネスマナーなど社会人の基礎を身につける。	1 前	30	1	○		○									○
○		ベーシックプログラムⅡ	社会人に必要で、その後の専門科目の履修に欠かせない基本知識を習得する。	1 前	30	1	○		○									○
○		ベーシックプログラムⅢ	社会人として活躍するための重要な能力「社会人基礎力」に着目し、チーム活動を通じた各種の課題をこなすことで社会人として必要な基本スキルを身につける。	1 前	30	1	○		○									○
○		デッサンⅢ	より発展的な人物の骨格、プロポーション、動きの捉え方、見方、表現方法の習得を目指す。	2 前	60	2		○	○	○								
○		デッサンⅣ	人・もの・空間を含んだ、トータルな空間構成の中での正確なデッサン表現方法の確立を目指す。	2 後	60	2		○	○	○								
○		CGイラストⅡ	「Photoshop」、「Illustrator」、「Painter」など、個人の作風に合う表現技法を模索し、完成度の高い作品を作る技術力の強化を狙いとする。	2 前	60	2		○	○	○								
○		アイディアトレーニングⅡ	他分野の表現理論や自己分析、課外授業などから、マンガ・イラストに活かすアイディア力の強化を狙いとする。	2 前	60	2		○	○	○								
○		アイディアトレーニングⅢ	これまでインプットした知識に加え、表現することの意味を深く考える自発的な思考力向上を目指すことを目的とする。	2 後	60	2		○	○	○								
○		背景研究Ⅱ	パース技法を使い背景演出について理解し、学んだ技術を応用して内容度の高い作品を作る表現力強化を狙いとする。	2 前	60	2		○	○	○								
○		業界研究	マンガ家・コミックイラストレーター業界の仕事を理解し、具体的な作家活動方法や戦略を身につけることを目的とする。	2 後	60	2		○	○	○								
○		コミックスタジオⅠ	マンガ・イラスト制作ソフト「クリップスタジオ」の実習を通して、コンピュータによるマンガ作画技術の基礎を習得する。	2 前	60	2		○	○	○								
○		コミックスタジオⅡ	クリップスタジオの技術を応用し、各自作画に合わせた効果や演出力向上を狙いとする。	2 後	60	2		○	○	○								

○	ストーリーマンガⅤ	編集部持ち込みを前提にしたマンガ原稿の制作を实践。読者の満足度を意識した発想力向上の習得を目指すことを目的とする。	3前	120	4	○	○	○	○	○	○
○	マンガ技法Ⅴ	作品制作前の取材や資料収集を徹底することの必要性を理解する。細部にまで気を配り、よく観察し、丁寧に描く能力の強化を目指すことを目的とする。	3前	120	4	○	○	○	○	○	○
○	コミックイラストⅢ	造形理論から出版社コンペティション、投稿の戦略まで、よりレベルの高い表現力を習得する。	3前	240	8	○	○	○	○	○	○
○	卒業制作（マンガ専攻）	完成度の高い個性豊かな作品や実験的な作品を制作し、3年間の集大成となる投稿用完成作品を仕上げることを目的とする。また添削会に出品することも目的とする。	3後	300	10	○	○	○	○	○	○
○	卒業制作（コミック専攻）	3年間の集大成となる見ごたえのあり時間的な蓄積を感じることでできる作品を制作する。ライトノベルを想定した総合的なデザイン力を習得する。	3後	300	10	○	○	○	○	○	○
○	キャリアデザインⅢ	自己分析や社会、企業などの理解を通して、職業選択をする。	3前	30	1	○	○	○	○	○	○
○	就職研究Ⅰ・Ⅱ	個々の学生の目標業種に応じた取組みを行い、また、就職活動の状況を把握し、効果的に就活を進めるための総合的サポートをおこなう。	3通	60	2	○	○	○	○	○	○
合計			科目	2940単位時間(98単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
進級・卒業は、当年次に必須科目を全て単位取得して、進級もしくは卒業判定会議で承認されること。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。